

独立生計申立書（私費外国人留学生を除く）

令和 年 月 日

学生番号 _____ 氏名 _____

1. 私は、次の認定条件の1（1はA～Cのいずれか）～4の**全て**に該当し父母等から独立した生計を営んでいます。（該当する場合は、下記1～4にチェックしてください（1はA～Cのいずれか））

| 認定条件 | | 必要書類の例（詳細は必要書類一覧表をご確認ください。） | 備考 |
|------|--|--|--|
| | 以下1-4の 全て に該当すること (但し、1はA-Cのいずれか) | ○本人（及び配偶者）の所得（課税）証明書（必須） 上記に加えて、以下1-4の全てに該当すること (但し、1はA-Cのいずれか) | 全てに該当しない場合は、 独立生計での申請は不可です。 |
| 1 | A. 本人（配偶者も含む）に、年間103万円を超える収入（給与収入又は所得）があり、その収入について、所得申告がなされ、所得証明が発行される者 | A-前年から引き続き同じ給与収入又は所得がある場合は、源泉徴収票（写）や確定申告控（写）等（年収を示すもの） | ★認定条件の収入に含まれない主なもの ・貸与奨学金 ・基準日（前期4月1日、後期10月1日）時点で終了（退職・休職）しているもの |
| | B. 本人（配偶者も含む）に、今年度、給与収入（例：給与奨学金（年額）、アルバイト等も含めた総額）又は所得が103万円を超える見込みの者 | B-その根拠証明書等（給与支給（予定）証明書〔様式2〕、学振採用決定が分かるもの、奨学金の受給額が分かるもの等） | |
| | C. 本人が本学への 入学のために退職（休職等） し無収入となった者で就労時の預貯金により生活を行っており、その預金残高が103万円を超えている者 | C-退職・休職し預貯金により生活を行っている場合は、 退職（休職等）証明書（他の書類は不可） 及び氏名と預金残高がわかるもの（通帳の写等） | |
| 2 | 所得税法上及び健康保険上、父母等（配偶者を除く）の扶養親族でない者 | ・本人（又は配偶者）が筆頭健康保険被保険者証（写）（国民健康保険の場合は本人（配偶者）が世帯主） ・配偶者がいる場合：配偶者の健康保険被保険者証（写）も必要（国民健康保険の場合は本人（配偶者）が世帯主） | |
| 3 | 本人（及び配偶者）の父母等と別居している者 | ・本人（配偶者も含む）の住民票（原本） ・本人（配偶者も含む）の父母の住民票等（コピー可）※ ・配偶者がいる場合：配偶者の父母の住民票等も必要 ※ただし遠方・高齢等の事情により、住民票の取得が困難な場合は、免許証や保険証（住所が記載されているもの）の写でも可 | 父母と住所が同じ場合は別居とはみなしません。 |
| 4 | 父母等（配偶者を除く）から経済的な援助を受けていない者 | ・独立生計申立書〔様式7〕 | |

2. 私（と配偶者）の「1ヶ月当たりの平均家計費」および「年収」は次のとおりです。

| 収入 | | | | 支出（学費は含めない） | |
|------------------|--|----|-------------|-------------|-----|
| 続柄 | 項目 | 年収 | 月平均（=年収÷12） | 項目 | 月平均 |
| (例) 本人 配偶者 | 定職（支払金額を記入） | 千円 | 千円 | 住居費 | 千円 |
| | 日本学術振興会特別研究員・研究遂行費を申請している場合は月平均を1万円と記入 京都大学大学院教育支援機構 次世代AI/SPRINGプログラム | 千円 | 千円 | 水道光熱費・通信費 | 千円 |
| | TA/TAS/RA/OA/RF等 | 千円 | 千円 | 食費 | 千円 |
| | アルバイト | 千円 | 千円 | 衣服・日用品費 | 千円 |
| | 給与型奨学金 (名称) | 千円 | 千円 | 教材費 | 千円 |
| | 貸与型奨学金☆ (名称) | 千円 | 千円 | 交通費 | 千円 |
| | 預貯金引出☆☆ 残高と一致させる必要はありません 1-Cの申請者は願書に同額を入力すること | 千円 | 千円 | 健康保険料・医療費 | 千円 |
| | その他 () | 千円 | 千円 | 子どもの養育費 | 千円 |
| | 合計 | 千円 | 千円 | その他 () | 千円 |
| | 合計 | 千円 | 千円 | 合計 | 千円 |

収入は根拠のある数字を記入してください

収支額を一致させてください

※願書の入力内容と一致すること(但し、☆は除く/☆☆は認定条件1-Cでの申請者のみ一致すること)